

# 生徒指導だより

第4号

令和7年4月10日発行  
市川市立大洲中学校  
生活指導担当

## 教育相談週間

4/18（金）、22（火）、24（木）、25（金）が教育相談週間になっています。「教育相談」というと堅苦しいイメージを持つかもしれませんが、「年度の初めに担任の先生と1対1でお話をしましょう」というものです。

1年生は入学してから、2年生はクラス替えをしてから1～2週間過ごしてみて感じていることを、担任の先生と話してみてください。自分が感じていることを話すことで、マイナスな気持ちは小さくなります。プラスの気持ちは大きくなります。そして自分の頭の中を整理することができます。3年生は1年間進路選択と向き合うことになります。動きの早い人は進路について気になっていることがあるかもしれません。「早すぎるかな」ということを気にせず、遠慮なく相談してください。最上級生としての意気込みを語るというのも良いですね。

もしかしたら苦しい気持ちを持っている人がいるかもしれません。そういう人は今の気持ちを遠慮なく相談してください。担任以外の先生やカウンセラーさんとも話をすることができます。希望がある場合は事前のアンケートに記入するなどして申し出てください。

教育相談は、悩みを相談するだけのものではありません。「こんなクラスにしたい!」、「〇〇をやってクラスに貢献したい!」、「こんな風に行事に向きたい!」といった前向きな話が出るのも大歓迎です。

クラスや学年の繋がりが良いものになるように、教育相談の機会をぜひ活用してください。

教育相談週間を待たずに先生と話したいことがある人、遠慮は無用です。その場ですぐに話を聞くことができない場合もありますが、まずは声をかけてみてください。

## あいさつについて

4/8（火）の朝、校門でみなさんに、「おはようございます」とあいさつをしました。

リアクションは様々でした。

リアクションではなく、先にあいさつをしてくれて、こちらが「おはようございます」を返した人。

声を出してあいさつを返してくれた人。

こちらに目を合わせて会釈を返してくれた人。中には、こちらが反対側を向いている時に歩くスピードを緩めて目を合わせることを意識してくれた人もいました（2年生の男子でした）。

目は合わなかったけれど会釈を返してくれた人。

こちらの気持ちが届いていることが実感できました。

あいさつをすることの効果は、インターネットで検索をするといろいろ出てきますが、やはり前向きな気持ちになれることがとても大きなことです。そしてその効果は声を出した方が大きいです。声を出してあいさつをするのが苦手だと言うものいると思いますが、相手のため、そして何よりも自分の気持ちを上げるために、「おはよう」のあいさつにチャレンジしてみてください。